

- コロナでオンラインが主となり、皆さんの前で直に話すケースが少ないこともあって、校内で皆さんへの「おはよう」「こんにちは」の挨拶を心がけてきました。4月に比べて、皆さんの方からの「おはようございます」「こんにちは」も増えてきて、声も大きくなってきた。毎日これが嬉しい。
- 校長室で仕事していると、放課後になるとサッカー部員の声が毎日聞こえてきます。大きな声を出し合って練習を頑張っている。今後、いい結果が出てほしいと思う。今日も多くの部活で表彰がある。校長としてはとても嬉しい。
- 本校の「スクール・ミッション」と「スクール・ポリシー」を策定しHPで公開しました。1, 2年生には機会をみて話をしたいと思っています。
- 制服の標準服化についてアンケートを行いました。結果を報告しておきます。
  - ・生徒からは689人の回答があった。3年生も「卒業するので・・・」という意見も含めて、無視せず回答してくれた人、ありがとう。
  - ・回答した生徒のうち、賛成は50%弱、反対は約30%、残りは分からない・どちらでも良い。
  - ・「主体性を伸ばす」という目的にはあまり賛同者はいなかった。反対に「私服の選択に困るから」という反対意見が多かったが、高校生にとっては当然だとも思う。センスあるなしとか、服選びは考えますよね。「気になる人」も「気にならない人」もいて良いのです。私のような“おっちゃん”も、買い物に行くときなど服装は一応気にする。
  - ・「だから考えるのを放棄する」に繋がらないように。
  - ・3年生の受験シーズンでもあることから、状況だけ報告した。3年生は「服装選び」など忘れて目標達成に向けて励んで下さい。
  - ・ちなみに、私が高3の共通一次試験（今の共通テスト）には、制服を着て行った。2次試験には私服で行ったが、当時私服を着ることが少なかった私にとっては「ダサくてかっこ悪かったなあ」と昔を振り返って思う。
- 修学旅行での私の学び

11月25日からの4日間、50回生と一緒に沖縄に行ってきました。

  - ・地元沖縄で育ったタクシーのドライバーさん（年齢は60～70歳くらい）から、1時間半の道中に伺った話を紹介する。
  - ・道中の風景として、米軍の基地が非常に多い。これでも多くの土地が返還されたとのこと。
  - ・ドライバーさんが子供の頃、基地のアメリカ人家庭との差を感じながら、辛く苦しい生活だったと。沖縄は台風や大雨のイメージがあるが、沖縄の夏は水不足だそう。飲む水も我慢している横で、金網の中では芝生に大量の水やりをしていた。「悔しかった」と。
  - ・沖縄に来られたら是非「ひめゆりの塔」や「平和祈念公園」に行って、沖縄で何があったかを知って欲しいと言われた。沖縄の人の「平和」への思いを知ることができた。
  - ・今、国会や報道で反撃能力保有のための軍事増税が大きな話題になっている。皆さんはどう考えるか？

- ・ウクライナ情勢や、北朝鮮・中国などの脅威に対処するためということである。抑止力と平和の維持について皆さんはどう考えるか。そもそも、私たち市民の“危機感”はどうか、先日北朝鮮からミサイルが発射された時の私たちの反応はどうだったかなど、考えることは多い。
- ・1月17日には「阪神淡路大震災」の追悼行事を予定している。自然災害が起これば私たちの暮らしは一瞬に壊れてしまう。
- ・SDGs講演会の後なので分かってもらえると思うが、世界で起こっていることにも目を向けながら、改めて「平和な暮らし」について考えてみて欲しいと思う。

○ 3年生はいよいよ共通テストへの追い込みです。

- ・私の経験談と大学の先生から伺った話を1つずつ。
- ・まず、「ギリギリまで諦めない」

私は受験前日に大学近くのホテルに宿泊した。夜に同じ高校から受験に来ていた同級生から「会わないか」と誘われたが、まだやり残した所（化学の有機化合物だったように思う）があったので、誘いを断ってホテルに籠もって最後の追い込みをした。なんと！翌日の試験に昨晚解いた問題が出た！ たまたまなのだが、前日の自分の判断は正しかったと実感した。その時から私は「ギリギリまで諦めない」精神でやっている。1, 2年生にも。普段の定期考査への取り組みとして「余裕を持って勉強しなさい。一夜漬けは良くない。」と言うけれど、1点にこだわることは悪くないと思う。

- ・2点目。この夏に京大、阪大、神大・・・などの数学の入試と採点に関わっておられる大学の先生方を囲んで入試懇談会があった。その会で、ある教授から「答案は採点者への手紙です」という言葉があった。答案の中身の作り方などはさておき、誰でもできることとして「字を濃く書いて欲しい」と言われた。それはなぜか？それは「大学の先生は年配者も多いので」ということであった。察してください。3年生は、当日は是非濃い字で書いて欲しい。1, 2年生も次のテストから心がけてみてはどうでしょう。本校にも老眼鏡が必要な先生は多いので。

○ 最後に。「メタ認知」という言葉を知っていますか？

- ・自分自身を客観的に認知する能力を「メタ認知」と言う。メタ認知の「メタ」は直訳すると「高次の（高い次元）」という意味がある。自分が認知（理解・判断）していること、例えば記憶・思考・学習したことなどを高次の視点から認知をすること、という意味です。
- ・イメージして下さい。自分が何かをしているときややり終えた時に、常にもう一人の自分が斜め上から冷静に見ているような状態です。自分の言動について、もう一人の自分が客観的な立場から、その言動を把握したりコントロールする能力を「メタ認知能力」と言う。
- ・例えば、「自分は今感情的になっているな」と客観的に見ることができたり、運動部の人なら、身体の動きをメタ認知して、「こういう風にバットを振っている」とか「このように腕を動かしている」など、自分の言葉によって表現することが出来ればスキルを獲得する有効な手段に繋がる、などです。

なぜメタ認知に触れたかということ

○ 令和4年は皆さんにとってどんな年でしたか？

新しい年に向けて、自分を客観的に評価、すなわちメタ認知して、具体的に目標を定めて、何か一歩を踏み出して下さい。来年が皆さんそれぞれにとって良い年になりますように。